

つくろう、未来を。  
つくろう、素材で。

2022年1月6日  
愛知製鋼株式会社

## 2022年 社長年頭挨拶（要旨） ～未来への絶え間ない成長に向けて(Survival for the future)～

明けましておめでとうございます。新たな決意とともにご挨拶させていただきます。

### 1. 去年の振り返り

去年は、コロナ禍の継続、カーボンニュートラル（CN）・デジタルトランスフォーメーション（DX）、更なる車の電動化加速など、激動の1年でした。これに対して当社は、需要変動へ柔軟に対応し、モノづくり力を確実に向上してきました。

明るい話題では、当社の山西利和・丸尾知司の両選手が東京オリンピック（競歩）に出場し、山西選手が銅メダルを獲得、大きな勇気と感動を与えてくれました。

このような激しい環境変化に対応し、未来への絶え間ない成長を続けるため、2030年ビジョンをベースに、「Company of Choice Globally」を目指し2022年をスタートします。

### 2. 2022年の取り組み

#### （1）ベースとなる安全・品質の強化

改めて安全第一を徹底し、安全マネジメントの強化を図り、最新情報を横展することで、相互啓発による災害防止を目指します。品質面では、本質に踏み込んだ品質改善や自工程完結活動の推進強化に取り組みます。

#### （2）事業基盤の強靭化

更なる需要増を見据えた上方弾力性確保に向け、現有設備の能力の最大限発揮、アライアンス拡大による鉄源改革に加え、TPS（トヨタ生産方式）をベースとした原価低減推進と効率化で競争力を強化します。加えて、原材料の複数・広域調達など、事業継続のためのフレキシブルな調達を構築します。

#### （3）「両利きの経営」の強力推進

既存ビジネスを維持・拡大させながら、時代の変化に対応する新規ビジネスを探索・深耕し、新たな経営の柱に成長させます。

- ①特殊鋼・鍛造品：「鍛鋼一貫」の強みを活かした、電動車向けの特殊鋼、鍛造品開発  
・アセアン鍛造拠点向け鋼材の、インド・バルドマン社材への早期切替
- ②ステンレス：インフラ再構築や水素社会の早期実現に向けたビジネス拡大
- ③新ビジネス：次世代肥料PDMAの工業化に向けた製法開発・市場開拓  
・(株)ユニカと協業でGMP S（磁気マーカシステム）の事業モデル確立
- ④CN：モデル工場（関・刈谷）でのCN先行実現に向けた技術導入、次世代電気炉検討
- ⑤DX：業務プロセス改革と意思決定の迅速化による変化への対応力強化

#### （4）あるべき利益達成に向けて

原材料高騰の影響は大きいですが、鍛えてきたモノづくりの実力の更なる強化とともに、原材料高騰分の価格転嫁や原単位改善を進めます。

### 3. 社員の皆さんにお願いしたいこと

激しい変化が続く今、物事の本質を的確にとらえ、スピーディに動くことが重要です。そのためにも、これまで私たちが整備してきた、2030年ビジョンをはじめとする強固な仕事のフレームワークを大切にしながら、何事も自分事として、当たり前なことにも疑問をもち、高い志で自ら変革に挑戦してください。

今年は2021-23年度中計の2年目、飛躍の年です。厳しい経営環境ですが、健全な危機意識を一人ひとりが持ち、ピンチをチャンスに変え、最高のスタートを切りましょう！